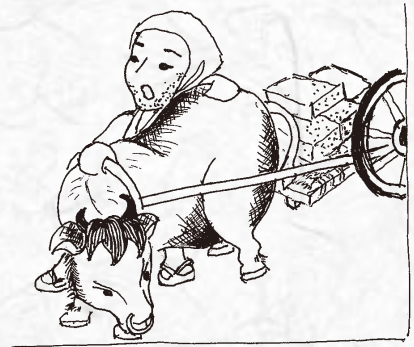


岩船山の南蛮石

昔から 岩船山の石は 南蛮石とも呼ばれてナ
古河のお城から 江戸城にも使われていたんだってヨ
神社の石段から石垣や 土台石にと広く使われてナ
茂呂では 日限浅間神社の鳥居も岩船石で作ったとサ
明治になると 石を切り出して売りさばく業者も増えてナ
この石切り場は 百姓たちの農閑期の稼ぎ場だったと

その内に荷馬車で 専門に石を運ぶ商売も盛んになってナ
朝から石を運ぶ わだちの音が「ガラガラ」と行き来してヨ
街道筋には 順番待ちの馬方を相手の茶店もたつてナ
威勢の良い馬方の声が飛び交い 店は繁盛したとサ
冬は西風の土ぼこりの中を 馬のいななきが聞こえてナ
駒場・茂呂を抜けて 荷馬車は街道へと出ていったと
それに神社を造る事が 各地で流行った時があつてナ
石は渡良瀬川から 舟で関東各地へ運び出されてヨ
荷馬車の長い行列が 渡良瀬川まで続いたものだト
途中の坂道で 押し上げなければならぬのでナ
馬方たちは 荷馬車を何台も連ねて運んだんだト
岩船山の姿は 時と共に少しずつ変わっていったとサ

おしまい



絵：美寿々すみ子さん

このコーナーでは、「いわふねの民話集」(発行：民話美寿々会いわふね)から隔月に一話、岩舟に伝わる民話を紹介します。

大人だけでなく、子どもにも楽しめるお話です。ぜひ、お子さんにも読み聞かせてあげてください。

お く や み

(5月21日から6月20日) (敬称略)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 大溝正男 | 小国男 | 野村幸雄 | 川俣浅次 | 山崎幸子 | 堤竹一郎 | 坂本福一 | 岡川準一 | 茂藤橋章 | 越沼重吉 | 麦倉橋忠 | 高篠明 | 飯永重哲 | 藤野光三 | |
| (73歳) | (51歳) | (77歳) | (89歳) | (54歳) | (91歳) | (66歳) | (52歳) | (81歳) | (77歳) | (80歳) | (81歳) | (42歳) | (59歳) | (86歳) |
| ・曲新田 | ・豊岡宿 | ・赤新田 | ・曲新田 | ・三谷中 | ・馬宿東 | ・下津原新田上 | ・茂呂新田 | ・赤宿西 | ・新里北中妻 | ・西耕地 | ・馬宿東 | ・下津原新田下 | ・林中原 | ・下津原宿 |
| ・新田 | ・宿 | ・新田 | ・中 | ・東 | ・上 | ・新田 | ・塚 | ・西 | ・妻 | ・地 | ・東 | ・下 | ・原 | ・宿 |
| ・新田 | ・宿 | ・新田 | ・中 | ・東 | ・上 | ・新田 | ・塚 | ・西 | ・妻 | ・地 | ・東 | ・下 | ・原 | ・宿 |
| ・新田 | ・宿 | ・新田 | ・中 | ・東 | ・上 | ・新田 | ・塚 | ・西 | ・妻 | ・地 | ・東 | ・下 | ・原 | ・宿 |
| ・新田 | ・宿 | ・新田 | ・中 | ・東 | ・上 | ・新田 | ・塚 | ・西 | ・妻 | ・地 | ・東 | ・下 | ・原 | ・宿 |

※この欄は、ご家族の承諾を得られた方を掲載しています。掲載については、毎月20日ごろ電話でご連絡します。

合併協議会設置の

請求書が提出されました

6月9日(水)、合併特例法に基づく、栃木市との合併協議会設置請求書が、町選挙管理委員会の審査を終えた署名簿とともに、請求代表者の方から町長に提出されました。

なお、有効署名総数などは次のとおりです。

- 署名及び押印をした者の総数 4,837人
- 有効署名の総数 4,542人
- 無効署名の総数 295人

Best Shot



みんなの



核家族が進み、日常生活においても子どもたちとお年寄りの関わり合いが少なくなっています。そのような中、地域の子もたちとお寄りとの交流を深めようときまぎまな活動を行っている佐々木頼雄さんにお話を伺いました。

「お年寄りはお年寄りだけでなく、子どもとお年寄りがふれあうことが大事」と話す佐々木さん。昨年は、静和第二地区社会福祉協議会会長として「交流の場」を大切にしようと活動してきました。静和小学校内にある静和ふれあい館は、そんな子どもたちとお年寄りの大切なふれあいの場所です。ここでは普段、お年寄り

が子どもたちと一緒に、お手玉やおはじきなど昔の遊びやスポーツをしたり、学校への奉仕活動などを通して交流を図っています。「元氣いっぱい遊ぶ子どもたちの笑顔は宝物。今も昔も子どもたちの素直な心は変わらない。そんな姿をみると私たちがみんなも温かい気持ちになれる」とうれしそうに話します。

お年寄りが「生きがい」を持って社会に積極的に参加、貢献していくことは、健康増進や介護予防にもなり、また、若い世代をサポートし社会全体を元気にしていくためにも欠かせないと言われています。「最近では地域コミュニティも薄れ、孤独な生活を送る人も多くなっているように感じる。みんながもつと積極的に参加して、このような活動がこれからもどんどん広がってほしい」。終始にこやかに話す佐々木さん。今日も地域に笑顔の輪を広げたいです。

●地域の交流に一役●

佐々木 頼雄さん (駅前一)

ふれあいの場を大切にしたい

文芸いわふね

俳句・小櫛吟社 兼題「青田」



見送りし孫は外国青田道

とちぎみつこ

一列に行く学童や青田道

小倉芳子

見おろせば青田の里にわが住所

堀内康弘

一望の青田の果を電車行く

大沢みも女

青田見てはつと安堵の農夫かな

川島とく女

山里を縫ふが如くに青田波

大阿久薫雄

青田道幼なき思い出父浮かぶ

麻生杉女

濃く淡く育つ青田の緑かな

池田涼舟

朝早に農夫青田を見廻りぬ

板倉喜代

山峡の竹林抜ける青田風

林 秀代

解説

田植えをした苗が伸び、一面に青くなった田を青田という。その青田に吹き渡ってくる風を青田風、その青田が波立つように見えてくる様を青田波という。そしてまた、その青田の中に続く道を青田道という。その青田道を行くと、田の草を取っている人もかくれるほどに伸びている様に驚くばかりである。池田涼舟

短歌・一般投稿

青田越ゆ風の清しきしみじみと

心止むる夫誕生日

須藤恵津子

農作業今年は息子が主になりて

手作り野菜で楽しき食事

熊倉コウ

わが家のアイドル



ひゅうが 土谷飛雅くん (5歳) そらる 蒼空瑠ちゃん (1歳)

☆いつも元気いっぱい仲よし兄妹です☆



かほえ 菊地奏衣ちゃん (8ヵ月)

奏衣の笑顔が大好き!

一枚の写真



～人命救助にかける情熱～

6月1日(火)、佐野消防署東分署で消防救助技術を競う署内大会および選考会が行われました。これは、6月23日に県消防学校で開催された「第36回県消防救助技術大会」に先立って実施されたものです。

東分署で実施された競技種目は、「引揚救助」「ロープ応用登はん」「はしご登はん」「ロープブリッジ渡過」の4種目。隊員達は日頃鍛え抜いた力を出し切り、額に汗をにじませながらその技術を競い合いました。

ホテルが舞う夜に

町観光協会、芸術の里づくり実行委員会主催の「ホテルまつりコンサート」が6月5日(土)、町健康福祉センターで行われました。この日は日暮れとともに、川のほとりをホテルが飛び交い始め、訪れたおよそ500人の人たちは幻想的な光の舞いを楽しんでいました。

また、「芸術の里づくり事業」の一環として開かれたコンサートでは川岸妙美さんのヴァイオリン、飯野景子さんのピアノによる演奏、アンサンブルキャナライズによるフルート3本とピアノによる演奏が行われ、夕暮れに響く、しっとりと落ち着いた音色が満員の会場を包みこみました。



アンサンブルキャナライズのみなさん

広報いわふね

〈住所〉〒329-4392 栃木県下都賀郡岩舟町大字静 5132 番地 2
TEL.0282(55)7753(企画課) FAX.0282(55)4910

〈発行〉岩舟町

〈編集〉岩舟町役場企画課企画調整担当

人口と世帯数 (6月21日現在)

- 人口……18,511人 (内外国人…116人) 前月比-18人
 - ▶男……9,357人 ▶女……9,154人
 - ▶出生……6人 ▶死亡……20人
- 世帯数……6,264世帯